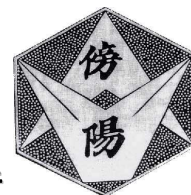


平成 20 年度 傍陽小学校だより 第 14 号

光れ！そえひっ子



平成 20 年 1 2 月 2 6 日発行

連絡先: 電話 73-2312 FAX 73-2313 有線 2301 HPアドレス <http://www.school.umic.jp/soehi/>

平成 20 年を終えるにあたって

ルールを守ることの大切さを

学校長 佐藤照雄

子どもは、昔からよく廊下を走ります。走ると危険なので、その都度先生たちが注意します。そこまでは、昔も今も変わらない風景なのですが、ここからが違います。昔は、注意されると「ごめんなさい」と言って反省し歩いて去りました。ところが、今は多くの児童が、そのまま無言で注意を無視して走って逃げ去ります。一般的に注意された時に逃げ去ると更に罪は重くなります。「で急いでいたんだからしかたない。」などと言い訳をする子もいます。稀に「ごめんなさい」と素直に反省し、歩いて去る子がいるとほっとします。こういう光景は、子どもだけではありません。社会の中でも、大人が交通事故を引き起こしておきながら、反省の色もなく後先を考えずに走って逃げ去るなどとてもないことがおこっています。

これは過去に勤務した学校の例です。「運動会には車でのご来校はご遠慮ください。」とプログラムに記されています。ところが、車でやってきて整理係をしてくださっているPTAの保護者の方に文句を言っています。曰く「今日はこのまま勤務に行くので、仕方ないでしょう。たった30分だけです。あなたは何の権利があって、私の駐車に文句をつけるのですか。敷地が空いているからいいでしょう。…」とか、「だから、遠慮しながら車で来ているでしょう。みんな止めたがっているから、止めさせればいいでしょう。」と。

そもそも、ルールは世の中の人々が快適に生活できるようにと作ったものです。個人個人の自由だけを認めていたら、周囲の人々はとんだ迷惑を被ります。このような社会になった理由は、戦後個人の自由や権利を必要以上に強調してきたからだと思います。自由は秩序とセットであり、権利は義務とセットで教えないと、こういうことになります。赤信号だけど、車がこないから渡っていいのだと自分ルールを作る。タバコは禁止されているけど、誰もいないから吸っていいと自分ルールを作り吸う。法律に違反していなければいいと自分ルールで勝手な解釈をし、明らかに世の中の正義に反していることをする。表現の自由を隠れ蓑にして自殺サイトを作ったり、大麻を鑑賞用と称して製造したりするのも自分ルールの果てです。

要するに自分勝手な解釈をして、自分を正当化しているのですが、それを覆い隠すために、「みんなもやっている」「みんなもそう言っている。」と言い張ります。このような大人の姿を見て、子どももそれを真似して育ちます。

最近世の中では、コンプライアンス(法令遵守)の徹底が叫ばれています。「これぐらいはいいだろう。」「これぐらいは許される。」という自分ルールが重大な事件・事故を引き起こします。「賞味期限は、過ぎててもこれぐらいはかまわないだろう。」「汚染米を流通させても人体には大した影響はないだろう。」と自分ルールを作り偽装を重ねるわけです。

さて、傍陽小学校では廊下歩行について職員・児童会で共に考え合いました。児童会では廊下歩行を月の目標に掲げて、達成しようががんばってくれました。子どもたちは走ると危険であるので走らないほうがいいのかということ承知していました。そこで、決まりを守ることの大切さを指導し、走っている子を見つけたら、子どもたちも、先生方も見逃さないで注意して歩くことを徹底しました。すると、二週間目には、廊下を走らなくなり、現在も続いています。自分ルールは認められないことやルールを守るよさ「自分も友達も気持ちがいい」が実感できたらいいなと願っています。

平成 20 年が終わります。1年間のご協力ありがとうございました。よいお年をお迎えください。

2008年傍陽小



ポップコーン収穫祭を楽しもう
今年はポップコーンが豊作でした。交流会での計画準備、工夫・協力ができた経験を生かして楽しい収穫祭です。(木内先生)

1 松



いろをぬってあげたときに「ありがとう」といってもらえてうれしかったです。(ひびきさん)

一どにたくさんかるたにきてくれて、ねんちょうさんとなかよくできたし、たのしんでくれてよかったです。(ゆめさん)

かみしばいをくふうしてつくったら、ねんちょうさんにおもしろいとよろこんでもらってうれしかったです。(あすかさん)



育てた大豆で豆腐作り
育てた大豆を使っての豆腐作りに向けて、自分で調べたり、豆腐屋さんにお話を聞いたりする学習を行いました。(宮林先生)

2 松



上田えきで新かん線を2分見ました。はやくはっていて、かっこよかったです。こんど、のってみたいです。(丈治さん)

バスで上田えきまでいきました。自分でお金を出すのがむずかしかったけど、うまくできてよかったです。(奈美さん)

みんなでおんせんにはいりました。おふろの中は、ぜんぶ石でできていてすごかったです。あつかったけど、気もちよかったです。(夢りさん)



仕上げ摘果は、摘果の時より実が大きくなっていて切るのが大変でした。摘果をしなかった枝の実は小さくて甘くなりませんでした。苦労して摘果するわけが分かりました。(葵さん)

3 松

堀内さんに教えていただきながら、育ててきたリンゴを落とさないよう気をつけて収穫できました。高いところのリンゴも脚立に登って全部採れて良かったで



習字学習

三年から始まった習字の学習では、自分と向き合いながら、一画一画気をつけて書くことができました。書き初めで書く「はつゆめ」が楽しみです。(日岐先生)

返し作業は、他の作業に比べて難しかったです。それは回しすぎると落ちてしまうからです。でも堀内さんに教えていただいて、何とかできました。(敬司さん)

思い出の1ページ

友だちっていいな
公哉さんの詩が歌になりました。
『友だちっていいな』の輪が、この歌から広がっています。
そして、温かい心も広がっていった一年でした。(丸山先生)



リサイクル活動で一番
心に残っているのは、
いらなくなったズボン
をバッグとティッシュケ
ースにかえたことで
す。(舞さん)

4 松

ゴミグループでゴミ拾いをやってきまし
た。タバコが一番多かったです。ゴミ拾
いをしてよかったです。(優衣さん)



節約グループの活動で、一番心に残ったことは、電気の節約
です。電気が一番楽で一番楽しかったので、こんな良い節約
法はないと思いました。(友弥さん)

米作りエナジー大作戦
一つ一つの米作りの
作業を、なるべく自分たちの手で取り組んだことで、逆に地域の
の多くの方々に支えられていることを実感しました。(永井先生)



宿舎では、着がえたり、ねたり
しました。でも、みんな笑っ
ていて眠れなく、10時半まで
起きていました。(裕太さん)

5 松

海水浴で、教頭先生のかぶ
っていたピンクの帽子を取っ
て遊びました。とっても楽しか
かったです。(彩摘さん)

ビーチファイヤーでは、
歌を歌ったり、たくさん
のダンスをしたりしまし
た。つかれたけど、楽し
かったです。(芳信さん)



一番の楽しさは、後楽園。舞
姫や観覧車に乗ったら落ちそ
うでこわかったなあ。どれもスリ
ルあり。(湧人さん)

浅草のごろごろ茶屋で
自分たちでつくった雷
おこし。上手に作れて、
家族にも喜んでもらえて
よかったです。(美咲さん)



ろう下が長くてびっくり。本会議場
も広がった。そして、ずぶぬれ
の中にとった写真が特別な思い出
になりました。(志穂さん)

6 松

運動会組体操
「この曲でやりたい」「この技は絶対に入れてほしい」の願いで、
必死に練習した組体操「47人のキセキ」でした。(片田先生)



(つづき)

ひまわり



海の学習

海に入って遊びました。砂山も作りました。ビーチファイヤーでみんなと『羞恥心』を踊ったのも楽しかったです。(友生さん)

ろうそく作り

フェスタそえひに向けてろうそく作りをしました。芯作りから始めました。加減しながら上手に型に蠟を流し込むことができました。100個以上作り、当日はたくさん買っていただきました。(沓掛先生)



保健室



本物に出会う
歯科指導、命の教育、薬物の害の学習などそれぞれの場面で専門家から、直接お話を聞くことを通し体の学習を深めました。(古村先生)

支援室



入学式
緊張して頑張っていた1年生の顔と、迎えてくれた上級生のやさしい顔が、印象的でした。(塚田先生)

庁務員室



サツマイモ収穫
二年間、イノシシさんに横取りされたサツマイモ。三年ぶりに自分達が収穫した焼き芋の味は？もちろん笑顔で『まいうー』だよ。(牧内先生)

事務室



アルミ缶回収
事務室前の回収箱には、PTAや地域の方々も毎月沢山のアルミ缶を運んでくださいました。(清水先生)

図書室



「飛べないほたる」
読書旬間中、全学年にパネルシアターを見せてあげることができました。一人ひとり感じ方・考え方が違っていたと思います。全部で十冊あり、さまざまな「ほたる」が登場します。ぜひ読んでみて下さい。(柄沢先生)

給食室



みんなで給食づくり
二十日大根からお餅まで学校で育てた食材でおいしい給食ができました。地域の方からも松茸等いただき、感謝です。(工藤・佐藤・岩淵先生)

音楽室



後片付け
音楽会やステージ発表の後片付けを最後まできちっとすることができるようになりました。後片付けができるということは、その時間に感謝の心を持ち、その時間を大切にできたということですね。(赤池先生)

《編集後記》4月から月1回発行してきましたが、小学校の様子をもっとご家庭や地域の皆様を知っていただこうと、二学期より月2回発行するようになりました。「小学校の様子がよく分かる」といっていただける学校だよりを来年も作っていきたいと思います。…皆様良いお年をお迎え下さい。(教頭)